

令和5年度「家庭総合」シラバス

県立南風原高等学校

科目名	単位数	学年	コース	必・選	使用教科書等
家庭総合	2	2	全コース	必履修	『高等学校 家庭総合』第一学習社 『生活ハンドブック資料&成分表』第一学習社
1. 科目の概要および目標					
生活の営みに係る見方・考え方を働かせ、実践的・体験的な学習活動を通して、様々な人々と協働し、よりよい社会の構築に向けて、男女が協力して主体的に家庭や地域の生活を創造する資質・能力を育成することを目指す。					
2. 成績評価					
a. 知識・技能		b. 思考・判断・表現		c. 主体的に学習に取り組む態度	
人の一生と家族・家庭及び福祉、衣食住、消費生活・環境などについて生活を主体的に営むために必要な科学的な知識とそれらに係る技能を身につけている。		家庭や地域及び社会における生活の中から問題を見だし、課題を設定し、解決策を構想し、実践を評価・改善し、考察したことを科学的な根拠に基づいて論理的に表現するなど、生涯を見通して課題を解決する力を身につけている。		様々な人々とよりよい社会の構築に向けて、地域社会に参画しようとするとともに、生活文化を継承し、自分や家庭、地域の生活の向上を図ろうとする実践的な態度を身につけている。	
評価の方法					
①定期考査 ②課題提出・作品提出 ③被服実習と調理実習の取り組み状況と技術 ④ホームプロジェクトと家庭クラブへの取り組み状況を総合的に判断し評価する。					
3. 授業の展開と形態 ・各クラス一斉授業		4. 学習方法 教科書・資料集を用いた座学、グループワークの授業。PCを活用した調べ学習、実習、実験を取り入れて体験的に学ぶ。			
5. 年間学習計画					配当時間
1 学 期	第1章 これからの生き方と家族（生涯の生活設計・家族・家庭と社会のかかわり）				8
	第6章 衣生活をつくる（人の一生と被服・被服材料と管理・これからの衣生活 *ホームプロジェクト ・被服製作エプロン）				8 4
	*学校家庭クラブ活動				2
2 学 期	第6章 衣生活をつくる（被服製作エプロン）				14
	第8章 経済生活をつくる（私たちの暮らしと経済・消費者問題を考える）				10
	第2章 次世代をはぐくむ（子どもの発達・子どもの生活） *ホームプロジェクト（発表）				8 2
3 学 期	第2章 次世代をはぐくむ（子育て支援と福祉）				4
	第5章 食生活をつくる（調理の基本 調理実習 2回） *学校家庭クラブ活動				6 2
					70時間

科目名	単位数	学年	コース	必・選	使用教科書等
家庭総合	2	3	普通科(全コース)	必	東京書籍「家庭総合」、家庭総合学習ノート
1. 科目の概要及び到達目標					
人の一生と家族、子どものかかわりと福祉、消費生活、衣食住などに関する知識と技術を総合的に習得させ、家庭や地域の生活課題を主体的に解決するとともに、生活の充実向上を図る能力と実践的な態度を育てる。					
2. 評価方法					
①定期テスト ②ノートやプリントの提出状況 ③調理実習の取り組み状況と課題提出状況 ④授業態度(出席状況)等を総合的に判断し評価する ※欠課時数が、出席すべき授業時数の3分の1を超えた場合、授業時数不足で単位保留となる。					
評価の観点					
(1) 関心・意欲・態度		(2) 思考・判断・表現		(3) 技能	
(4) 知識・理解					
家族・子ども・消費・経済・衣食住などに対して、また、それらに関連する制度や法律等に関心を持ち、生活していくうえでの知識・技術を習得して、生活の充実向上を図ろうとする意欲がある。		学習した内容を理解したうえで、自分の生活課題や社会的な課題を見つけ、解決のためにどのようなことができるのかを思考し、判断した内容を発表や課題等でまとめることができる。		自立するために必要な、調理技術、また家族介護のための基礎的技術などを身につけることができる。	
人が生活していくうえで必要な基本的知識や技術を身につけ、理解している。					
3. 授業の展開と形態			4. 学習方法		
各クラス一斉2時間連続授業 座学、実験・実習(導入→学習内容→まとめ) 実習の課題については補習あり。			教科書及び準拠ノートを活用し、食生活や消費生活、子どもの発育、高齢社会と福祉生活、生活設計の基礎知識を身に付ける。調理実習では基本的な調理法を身につけ、日常生活で実践できるようにする。		

5. 年間学習計画

学期	時数	単元・教材名	学習の目標(学習のねらい)	評価方法
1学期	1	家庭総合を学ぶに当たって	○家庭総合で何を学ぶのか理解する。	
	23	第6章 食生活をつくる 1. 食生活の課題について考える 2. 食事と栄養・食品 3. 食生活の安全と衛生 4. 生涯の健康を見通した食事計画 5. 調理の基礎  6. 食生活の文化と知恵 7. これからの食生活	○現代がかかえる食に関する課題について考え、自分や家族の食問題に取り組むができる。 ○健康の保持促進を図るために必要な栄養、食品、衛生、調理に関する基礎的な知識と技術を習得する。 ○豊かで充実した食生活の向上を図る能力と実践的態度を育てる。 ○調理実習(3/6回) 洋菓子の作り方(シフォンケーキ) 和食の作り方(親子どんぶり) 琉球料理の作り方(硬ジュージー) ○地域の伝統的な食文化について、知恵と文化の伝承について考える。 ○生涯を通じて健康で安全な食生活を営む力を身につける。	取組状況 調理実習 課題提出 テスト

学期	時数	単元・教材名	学習の目標(学習のねらい)	評価方法
2 学期	7	第6章 食生活をつくる 5. 調理の基礎	○調理実習(3/6回) 洋食の作り方(ハンバーグ) 中華料理の作り方(麻婆豆腐) 弁当の作り方	取組状況 実習 課題提出 テスト
	5	第2章 子どもと共に育つ 1. 命を育む 子どもの育つ力を知る  2. 親として共に育つ  3. 子どもとの触れ合いから学ぶ これからの保育環境	○出産前後の母体の健康管理と子どもの発達の様子および発達段階を知る。 ○人生の初期における親・家族や周囲の人々の関わりの大切さを理解する。 ○遊び、基本的な生活習慣の形成、食事、健康管理について知る。 ○子どもとの触れ合いを通して、愛着の形成と親としての成長を理解する。 ○子どもを取りまく社会変化の現状と児童福祉の理念を理解し、子育て支援の在り方について考える。	取組状況 実習 課題提出
	5	第3章 高齢社会を生きる 1. 高齢期を理解する 2. 高齢者の心身の特徴 3. 高齢者を支える 4. これからの高齢社会	○高齢社会の現状と課題を理解する。 ○高齢期の心身の変化や特徴と、個人差が大きいことを理解する。 ○高齢者を支援する方法を具体的に学ぶ。 ○身近な高齢者との触れ合いの機会を探す。 ○高齢者に関する福祉について学び、高齢者を支える制度と課題を考える。	取組状況 課題提出 テスト 取り組み状況 課題提出 テスト
	8	第4章 共に生き、共に支える 1. 私たちの生活と福祉 2. 社会保障の考え方 3. 共に生きる ・誰もが暮らしやすい社会を目指して(ユニバーサルデザイン)地域の防災力を高めよう	○一生を通じた福祉や社会性的支援の必要性を知る。 ○社会保障制度の理念と内容を理解する。 ○多様な人のニーズ、ノーマライゼーション、ユニバーサルデザインの理念を理解している。 ○地域の防災の高める意義と方法を考える。	取組状況 課題提出 テスト
	15	第8章 住生活をつくる 1. 住生活について考える 2. 住生活の計画と選択 3. 住生活の文化と知恵 4. これからの住生活	○住居の機能を考える。 ○平面図の基礎知識を習得し、間取りや動線について理解する。 ○ライフステージに合った住居を考える。 ○室内外の環境に着目し、安全性・快適性等を考慮する必要性を理解する。 ○気候風土に応じた住居や住まい方の工夫、住様式があることを理解する。 ○住環境における地域社会とのつながりの重要性を理解し、持続可能な住生活とは何かを考える。	取組状況 課題提出 テスト
3 学期	6	第9章 生活を設計する 生涯を見通す	○生涯の生活設計に必要な要素をまとめる。 ○自分の目指すライフスタイルを考え、高校卒業後の生活設計を立てる。 ○一社会人として必要な接待のマナーをお茶の入れ方、和菓子の頂き方を通して身に付ける。	取組状況 マナー実習 課題提出

総時数 70 時間

科目名	単位数	学年	コース	必・選	使用教科書等
子どもの発達と保育	2	3	普通科(普通総合コース)	選	実教出版「子どもの発達と保育」
1. 科目の概要及び到達目標					
子どもの発達の特性や発達過程、保育などに関する知識と技術を習得し、子どもの発達や子育て支援に寄与する能力や態度を育てる。					
2. 評価方法					
①定期テスト ②プリントや課題・作品の提出状況 ③実習の取り組み状況 ④授業態度(出席状況)等を総合的に判断し評価する ※欠課時数が、出席すべき授業時数の3分の1を超えた場合、授業時数不足で単位保留となる。					
評価の観点					
(1) 関心・意欲・態度	(2) 思考・判断・表現	(3) 技能	(4) 知識・理解		
子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。	子どもの発達や子育て支援について関心をもち、実際に子どもと関わろうとする意欲と態度を身につけている。		
3. 授業の展開と形態			4. 学習方法		
各クラス一斉授業 (導入→学習内容→まとめ) 座学、実習(造形・言語表現・調理) 実習の課題については補習あり。			教科書及びプリント(ワークシート)を活用し、子どもの発育について基礎的基本的な知識を身につけ、保育者や親の目線で保育について考える。実習においては、折り紙などを利用した造形(壁面)表現、絵本などを利用した言語表現、離乳期から幼児期の調理実習や看護実習等で乳幼児の発育に合わせた感覚を育成する知識や技術を身につける。		

## 5. 年間学習計画

学期	時数	単元・教材名	学習の目標(学習のねらい)	評価方法
1 学期	1	保育を学ぶにあたって	○保育を学ぶ意味について考える。	
	6	第1章 子どもの発達の特性 1. 発達と乳幼児期の意義 2. 発達と保育環境 3. 児童観と発達観 実習(造形表現(5月))	○ライフステージにおける乳幼児期の位置づけを確認し、生涯発達のために乳幼児期が大切であることを理解する。 ○子どもは様々な環境の影響を受けながら育っていくこと、発達の最近接領域を知る。 ○子どもは保護・療育される権利をもち、尊重されるべき存在であることを知る。 ○季節行事を折り紙などで表現し壁面を構成する。	取組状況 作品提出 表現方法と 制作、発表
	7	第2章 子どもの発達の過程 1. 子どもの発育 2. 子どもの精神発達 3. 人間関係の発達	○胎児期からの発育と発達の原則について理解し、個人差や臨界期を知り、環境の大切さを学ぶ。 ○乳幼児期の身体発育(各部位別の目安や評価法)を理解し、生理的特徴について知る。 ○乳幼児期の感覚や運動機能の発達と乳幼児の心身の成長について知る ○愛着関係の形成過程を学び、その重要性を理解し、対人関係と社会性の発達について考える。 ○情緒表現や認知機能、言葉(コミュニケーション)の発達について理解する。	取組状況 課題提出 発表

学期	時数	単元・教材名	学習の目標(学習のねらい)	評価方法
1 学期	10	実習(造形表現(夏休み))  (言語表現(絵本))	○季節行事を折り紙などで表現し壁面を構成し、品評会で相互評価する。 ○月齢に合わせた読み聞かせを実践し相互評価する。	取組状況 作品提出 表現方法と 制作、発表
2 学期	18	第3章 子どもの生活 1. 生活と養護 実習(調理実習(乳児～離乳)) 実習(幼児期のおやつ)  2. 子どもの遊び  3. 生活習慣の形成  4. 健康管理と事故防止  実習(造形表現(秋)) (看護技術(乳児))	○子どもの栄養と食生活の特徴を知り、月齢に合わせた食事計画ができる。 ○乳幼児に適した被服の素材・形を知り、適切な被服計画ができる。 ○遊びが豊かな心や能力の獲得に必要であること理解し、子どもの情操・感性・知的探求心などを豊かにするための適切な児童文化財の選択ができるようにする。  ○大人の役割と子どもの養護の方法や必要性、基本的な生活習慣と社会的な生活習慣の習得について理解する。 ○子どもの健康を守るための保育者の役割を理解し、健康状態の観察方法を知り、子どもの病気の特徴や住まいに潜む危険について理解する。  ○折り紙などを用いて季節を表現し、相互評価する。 ○乳児の看護や応急処置について実践する。	取組状況 課題提出 作品提出 表現方法と 制作、発表
		第4章 子どもの保育 1. 保育の意義と重要性  2. 家庭保育と集団保育  3. 保育の方法  実習(造形表現(冬休み)) (言語表現(紙芝居))	○人間形成の基礎を培う保育の意義について考え、保育の目的・目標について理解する。 ○健やかな育ちを支え理解する生活リズムや生理的欲求の保障、発達過程に応じた保育を理解する。 ○子どもが育つ環境の変化とその課題について調べ、子育て支援について理解を深める。 ○保育の方法を確認しながら子どもと一緒に遊び、反応を確認する。 ○折り紙などを用いて季節を表現し、相互評価する。 ○月齢に合わせた読み聞かせを実践し相互評価する。	取組状況 課題提出 作品提出 表現方法と 発表
3 学期	16	第5章 子どもの福祉 1. 子どもの福祉  2. 子育て支援  実習(造形・言語・看護・調理)	○子どもの福祉の理念について理解し、関係法規や制度、児童福祉関連施設の概要について理解する。 ○男女共同参画社会における、これからの福祉・児童虐待・母親の育児負担を軽減について考え、社会的支援の必要性を知る。 ○月齢に合わせた各表現を実践し、相互評価を行う。	取組状況 課題提出 作品提出 表現方法と 制作、発表

総時数 70 時間